

2022年度もの見方・考え方講座 齊藤日出治 5月12日

2021年度後期 コミュニズムの原像を考える—生きられる身体・空間・時間の世界へ

第1講 近代世界が喪失した身体・時間・空間のありよう I 11月11日

はじめに ケアワークの体験から学んだこと—身体とは何か、労働とは何か

一 アボリジニの「歴史実践」—「ラディカル・オーラル・ヒストリー」が発見したもの

第2講 近代世界が喪失した身体・時間・空間のありよう II 12月9日

一 <住まう>という身体的実践と家屋の空間

二 現象学的身体論

三 身体図式と身体文化

川田順造『<運ぶヒト>の人類学』岩波書店、2014年

第3講 近代世界における身体・時間・空間はいかにして発生したのか? 1月12日

1 商品世界における抽象的・客観的時間・空間と抽象的身体の誕生

2 剰余価値の生産における過去と現在の抽象化—商品世界はいかにして過去を現在にもたらすのか?

3 抽象空間の発生と近代資本主義の誕生

2022年度前期 ものの見方・考え方講座

テーマ 近代市民社会の政治と社会闘争の課題

第1講 近代市民社会の暴力と政治

第2講 近代市民社会の暴力が発動する政治

第3講 関西生コンの弾圧を通して近代市民社会の政治を考える その1

第4講 関西生コンの弾圧を通して近代市民社会の政治を考える その2

近代市民社会とは何か?

1 市民的交通形態によって組織される社会 →← 古代・中世の市民社会
=商品・貨幣・資本の運動による組織化 =身分制秩序

私的所有者としての同市民関係 → 階級関係=資本・賃労働関係
自由・平等 不自由・不平等

=ブルジョア社会 → 古典派経済学 → 経済学批判としての『資本論』

↑

2 広義の市民社会—市民的交通形態の運動がはぐくむ協同的・公共的關係とそのせめぎあい

経済的次元 — 経営者団体、労働組合、株式会社、各種協同組合、

社会的・文化的次元 — 交通、教育、医療、メディア、芸術、科学技術、都市社会、

政治的次元 — 3権分立の政治機構、警察、軍隊

広義の市民社会に貫かれる権力作用=政治 → 国家



ブルジョア社会は、この広義の市民社会において作動する政治を通して組織される。